

令和2年10月23日

NPO法人大江戸  
代表 橋本直和 様

平素より、上野動物園の事業にご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、新型コロナウイルスの東京都における感染状況は、今なお「感染の再拡大に警戒が必要であると思われる」レベルにあり、感染の急速な再拡大に予断を許さない状況です。

新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行は、上野動物園においてもこれまでに経験がない対応を迫られております。令和2年2月29日から115日間の臨時休園となり、関東大震災による休園期間を超えて開園以来最長期間の休園となりました。その後、6月23日から再開園をしましたが、現在、一日あたりの入園者数を制限し事前予約でのご利用とさせていただきます。お客様には、入園時に健康状態の確認に加えて、マスク着用やソーシャルディスタンスの確保などの「新しい動物園の楽しみ方」の実行もお願いしており、厳しい運営状態が続いております。

上野ハーフマラソンにつきましては、これまで地元連携の取組として協力してきたイベントであり、今年度の開催についても可能な限り協力させていただくよう検討を重ねてきました。しかしながら、現在の新型コロナウイルス感染症の発生状況を鑑みて、上野動物園としては下記の理由により、園内をマラソンの走路としてご利用していただくことへの対応は困難と判断させていただきました。

大変に心苦しい決断ではございますが、何卒、ご理解・ご了承のほど、宜しく願い申し上げます。

#### 記

1. コロナウイルス感染状況が依然として高い警戒レベルにあり、大会開催時の感染状況が予測できないこと
2. それにともない、現在実施している感染防止策を当面の間は継続しなければならず、感染防止に関連した様々な業務への対応に追われることから、マラソン大会への対応が困難であること
3. マラソン大会の実施後、開園時間までごく短時間しかなく、走路にある施設設備の消毒など来園者の安全・安心を確保するための方策を実施する時間が不足していること
4. 万一、マラソン大会の実施後、参加者並びに大会関係者、及び園職員等に感染者が発生した場合、その影響が動物飼育業務を含む園業務全体に及ぶ可能性があること

公益財団法人東京動物園協会  
恩賜上野動物園長 福田豊